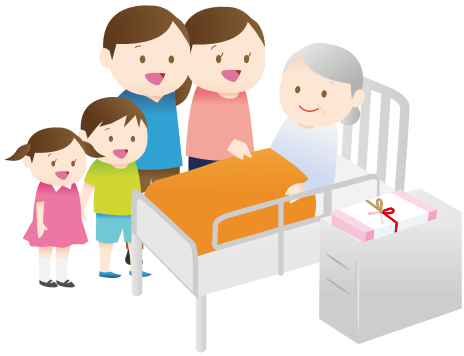
「お見舞い」について

お見舞いは、傷病にて入院や自宅にて療養している本人はもとより、
家族の方に対しても慰め励ましてあげることが目的です。

■お見舞いに伺う時期

病状の安定回復期を見計らって、入院・療養先に直接出向いて見舞ってあげるのが一番のお見舞いになります。



■お見舞いに伺う前の注意点

●事前に傷病の**内容や状況をよく確かめた上**で、お見舞いにお伺いする心がけが大切です。

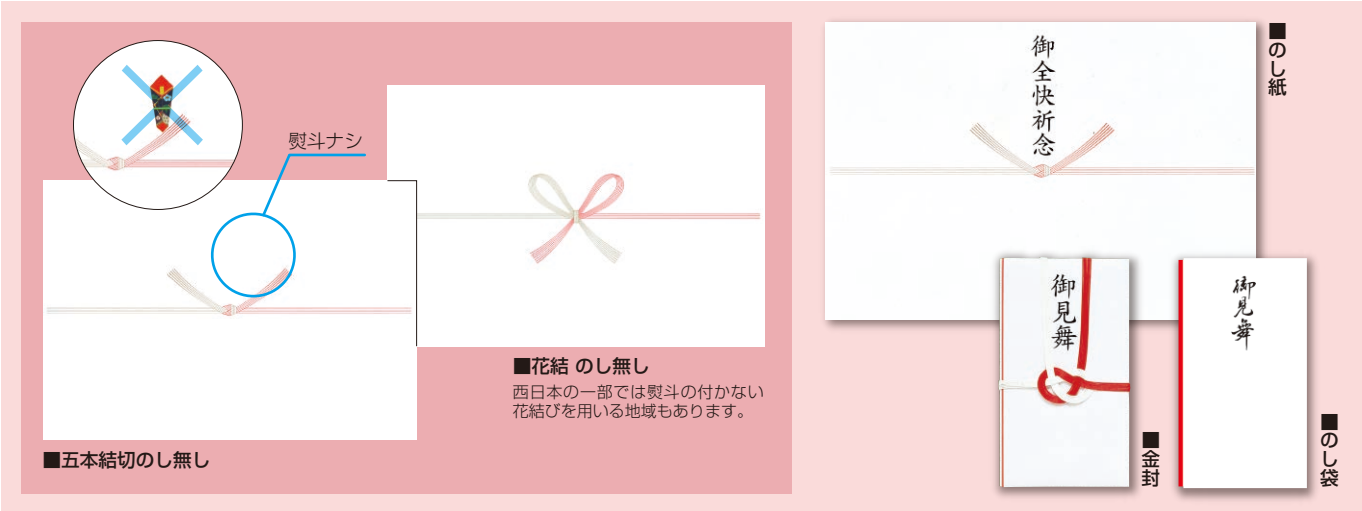
●面会はできるだけ子供連れ、**大勢で押しかけるのは避けましょう。**
時間は10分～15分で長居は禁物です。

●お見舞い金は、だいたい3千円から1万円ぐらいです。
お見舞い品には一般的に、果物やお菓子、花などを持参します。
※お見舞い品を持参する際は、病院食しか口に出来ない場合もありますので、**傷病の箇所や、病院側からの注意点も良く確かめておく**必要があります。

●贈答用品では、間違っても**熨斗の付いたものを用いない**ように注意が必要です。

■ひとくちMEMO

お見舞い品のお花も、鉢植えの花は「寝つく（根つく）」といって嫌われますので注意が必要です。



■ご贈答のマナー

贈答様式	贈り元	献辞（表書き）	慶弔用品
見舞い品を贈る	身内・身内以外	御全快祈念 御快気祈念 祈御全快 御見舞	【のし紙】 五本結切熨斗なし／花結び熨斗なし
見舞い金を贈る	身内・身内以外		【のし袋】 赤枠／向かって左端に赤色線が印刷されている柄／無地 【金封】 赤白あわび結び熨斗なし
見舞い返し	本人	※お返しは退院時の快気祝と一括でよい。	

■お見舞い金の目安

贈り先	最多回答額	第2位回答額	第3位回答額
全体	1万円	5千円	3千円
勤務先関係	5千円	3千円	1万円
両親	1万円	3万円	5千円・5万円
親類	1万円	5千円	2万円
友人・知人	5千円	1万円	3千円
隣・近所	5千円	1万円	3千円

※地域ごとの古くからの風習や宗教・宗派独自の決まりなどによって上記と異なる場合があります。